
[た よ り]

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後平成18年3月24日、4月28日、5月21日、6月24日の4回開催された常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 通常総会の開催と役員交代

5月21日、日本透析医会通常総会が開催されました。その内容と主な決定事項は本号に掲載のとおりです。この総会で、原田知理事、工藤寛明理事の辞任に伴い、中国地区から山下達博先生、九州地区から新里健先生が推薦され、新たに理事として承認されました。また、鈴木満先生が、日本医師会常任理事に就任されたことに伴い監事を辞任され、新たに今忠正先生が監事に就任されました。

2. 診療報酬改定について

平成18年度診療報酬改定の経緯につきましては、前号でもご報告させていただきましたが、3月24日に支部長会を開催し、改めて会長の山崎よりご説明させていただきました。

今回の診療報酬改定についてはEPOの包括化の影響が大きいと思われます。そこで医会では、今回の改定の影響と対応について会員の方々にアンケート調査を行いました。ご協力いただきました皆様には御礼申し上げます。EPOの包括化の影響については各方面からの分析と調査がされることとなりますが、医会の今回の調査結果は、早い時期に何らかの形で皆様方にご報告させていただきたいと考えております。

6月14日には、国会において与党賛成多数で医療制度改革法案が成立しました。この法案には、高齢化が進行し医療費が増加傾向にあり、危機的な状況にある国家財政の状況も踏まえ、患者負担増、医療費削減策が盛り込まれていますが、透析医療にとっても直接影響がある事柄がいくつかあります。まず、今年10月より高所得人工透析患者（月収53万円以上）の自己負担限度額が月1万円から2万円に引き上げられます。また平成20年4月からは、75歳以上を対象とした高齢者医療制度が創設され、これには65歳以上の透析患者も対象となります。この高齢者医療制度は、現行の制度より包括化が進められるなど、厳しい医療費抑制を目指す制度になる可能性が高く、今や高齢患者が多数を占める透析医療にとって大きな影響を及ぼすことは必至です。医会ではさしあつ

て6月30日に、厚生労働省保険局より講師を招聘し勉強会を行いました。席上、この時点では高齢者医療制度の診療報酬について、まだオープンにできることはない、とのことでしたが、医会としては、今後情報収集を進めるとともに、透析医療が今後の医療制度の中で、医療の質を保ちつつ成立するように努力していく所存です。

3. 第11回保険審査委員懇談会・第7回災害時情報ネットワーク会議

第51回日本透析医学会学術集会開催期間中の6月24日に、表記二つの会議がパンパシフィックホテル横浜内の会議室で執り行われました。ご多忙中参加していただきました先生方には厚く御礼申し上げます。参加の皆様のご協力により、いずれもきわめて有意義な内容の会議になりました。会議の内容については、どちらも次号(21巻3号)でご報告させていただく予定です。

4. 日本財団助成「災害時医療支援船運用計画策定と実施」事業

昨年4月より、透析医療をはじめとした慢性期疾患の医療に対し、災害時における船舶による支援の可能性について検討する目的で、日本透析医会が中心となり、日本透析医学会・神戸大学海洋学部・災害医療連絡協議会の協力の下に、日本財団助成「災害時医療支援船運用計画策定と実施」事業を進めています。昨年度は、神戸大学海事科学部の練習船「深江丸」による訓練航海を2回大阪湾内で行いましたが、今年度は、阪神地区でのプロジェクトに加え、新たに東京海洋大学に参画いただき、京浜地区においても、災害時の船舶搬送による透析医療支援についてのプロジェクトを進めていくことになりました。また、今年2月に東京船の科学館で行った「災害時医療支援船構想報告講演会」を、今年度は10月に大阪で開催する予定です。詳細については別途ご案内させていただきます。皆様方のご参加をお待ちしております。

5. 透析患者さんの移動に関する原則

新聞報道等でご存じの方も多いかと存じますが、今年5月、愛知県で公的病院の透析担当医師と民間透析施設医師が、患者さん紹介にかかわる金銭の授受の容疑で逮捕される、という事件が発生しました。このような事件は、透析医療に対する社会的評価を貶めるものであり、医会としても由々しき事態であると考えております。透析患者さんの紹介にあたって金銭の授受があってはならないことは当然のこととして、このような事態が再び繰り返されることのないよう、医会として患者さんの移動に関して原則と考えるところを会員の皆様方にお知らせするとともに、医会のホームページの会員専用ページに掲載しましたので、ご確認をお願い申し上げます。

6. 平成18年度厚生労働科学研究の承認について

本会会長の山崎を代表とする研究事業「透析施設におけるブラッドアクセス関連事故防止に関する研究」が昨年度に引き続き、平成18年度厚生労働科学研究の医療技術評価総合研究事業として採択されました。日本臨床工学技士会など各方面のご協力をいただきながら、医療事故防止のための成果をあげるべく取り組んでいく所存です。

7. シンポジウムおよび研修セミナー開催について

平成18年10月22日(日)、日本透析医学会との共催で、日本透析医会シンポジウム「透析医療

における Consensus Conference 2006～」を東京都港区品川のкокヨホールで行います。テーマは日本透析医学会「二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドラインを巡って」です。詳細は本誌巻頭のお知らせをご参照ください。日本透析医会の会員以外でもご参加いただけますので、お誘い合わせの上ご参加ください。なお、平成 19 年 3 月 11 日（日）には日本透析医会研修セミナーを同じく東京都港区品川кокヨホールで行う予定です。

お 知 ら せ

平成 19 年度（財）日本腎臓財団 公募助成のご案内

【目的】

当財団は、腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者さんの QOL の向上を図り、ひいては国民の健康に寄与することを目的としています。

この目的に沿うと期待される腎臓学研究者、腎不全医療関係者に助成を行います。

【選考条件】

- a. 基礎的な腎臓学ではなく、腎臓病、特に腎不全医療に貢献する応用が可能な臨床研究を望みます。
- b. 比較的日の当り難い分野、他から助成を受け難いものを優先対象とします。
- c. 昭和 37 年（1962 年）4 月 1 日以降に生まれた方。
- d. 申請書には所属長の署名が必要です。
- e. 倫理規定に抵触する可能性のある研究を応募する際は、倫理委員会にて承認を得ることが必要です。
- f. 同一の診療科からの応募は一件のみとします。
- g. 既に当財団の助成を受けられた方は応募が出来ません。

【助成額】

平成 19 年度	コメディカル	1 件	50 万円—2 件
	医師	1 件	100 万円—2 件

【応募期間】

平成 18 年 9 月 1 日～11 月 30 日（平成 18 年 11 月 30 日(木) 必着）

【選考】

公募助成選考委員の厳正なる審査により決定します。

【応募方法】

所定の申請書にて、必要事項を記載の上、事務局宛ご郵送下さい。

倫理規定に抵触する可能性のある研究を応募する際は、倫理委員会の承認通知書（コピー）を添付して下さい。まだ承認を受けていない場合は、承認予定日を明記して下さい。

【助成対象者の公表】

本件の助成に関して、氏名・所属・対象研究タイトルを当財団の公募助成関係についての情報（ホームページ、雑誌「腎臓」「腎不全を生きる」）に限って公開します。

【助成金の交付及び報告書・成果報告の提出、Grant No. の設定】

平成 19 年 5 月末頃に助成金を交付します。

報告書・成果報告を平成 20 年 3 月末日までに提出して下さい。

助成金交付時に Grant No. を設定しますので、助成該当研究を発表する折には必ず明記して下さい。

【雑誌への掲載】

原著論文を公的な雑誌へ投稿して下さい。

別に雑誌「腎臓」平成 20 年度 VOL. 31, No. 2 又は No. 3 へ研究成果を総論的に掲載します。

【書類送付・問合せ先】

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-1-11 飯田橋デルタビル 2 階

（財）日本腎臓財団 公募助成係宛

TEL 03-3815-2989 FAX 03-3815-4988

※ホームページでもご覧いただけます。URL <http://www.jinzouzaidan.or.jp/>

学会ご案内

●第10回 アクセス研究会記念大会

日 時：平成18年9月2日（土）～3日（日）
 大会長：水口 潤（川島病院）
 会 場：神戸国際会議場（神戸市）
 〒650-0046
 神戸市中央区港島中町 6-9-1
 TEL 078-302-5200 FAX 078-302-6485
 問合せ：〒770-8548
 徳島県徳島市北佐古1番町1-39
 医療法人川島会 川島病院
 TEL 088-631-0782 FAX 088-632-6885
 E-mail office@jsda-10.jp
 URL <http://www.jsda-10.jp/>

●第42回 日本移植学会

日 時：平成18年9月7日（木）～9日（土）
 会 長：落合武徳（千葉大学大学院 先端応用外科）
 会 場：幕張メッセ国際会議場（千葉市）
 〒261-0023
 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1
 TEL 043-296-0001
 問合せ：〒260-8670
 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
 （千葉大学大学院 先端応用外科内）
 第42回日本移植学会総会事務局
 TEL 043-226-2110 FAX 043-226-2113
 E-mail jst2006@convention.co.jp
 URL <http://www2.convention.co.jp/jst2006/>

●第24回 国際血液浄化学会

日 時：平成18年9月8日（金）～10日（日）
 大会長：武本佳昭
 会 場：奈良ホテル（8日）
 〒630-8301
 奈良市高畑町 1096 TEL 0742-26-3300
 奈良県新公会堂（9～10日）
 〒630-8212
 奈良市春日野町 101 TEL 0742-27-2630
 問合せ：〒545-8586
 大阪市阿倍野区旭町 1-5-7
 大阪市立大学・大学院医学研究科泌尿器病態学(人工腎部)内
 第24回国際血液浄化学会 事務局
 TEL 06-6645-2393 FAX 06-6633-9131
 E-mail ktsuchida@msic.med.osaka-cu.ac.jp
 URL http://www.isbp.org/meeting_2006

学会ご案内

●第25回 腎と骨代謝研究会学術集会

日時：平成18年9月16日（土）
当番世話人：下条文武（新潟大学）
福永仁夫（川崎医科大学）
会場：経団連会館11階「国際会議場」（千代田区）
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-9-4
TEL 03-5204-1500

●第28回 日本小児腎不全学会

日時：平成18年9月20日（水）～21日（木）
会長：吉村了勇（京都府立医科大学）
会場：旅亭紅葉（大津市）
〒520-0023
滋賀県大津市茶ヶ崎4-3
TEL 077-524-8111 FAX 077-524-0193
問合せ：〒602-8566
京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番地
京都府立医科大学大学院医学研究科移植・再生制御外科学
TEL 075-251-5532 FAX 075-223-6189
E-mail orgty@koto.kqu-m.ac.jp
URL <http://www.transp.jp/jsprf2006/>

●第36回 日本腎臓学会西部学術大会

日時：平成18年9月29日（金）～30日（土）
大会長：富田公夫（熊本大学大学院 腎臓内科学）
会場：熊本県立劇場（熊本市）
〒862-0971
熊本市大江2丁目7-1
TEL 096-363-2233 FAX 096-371-5246
問合せ：〒860-8556
熊本県熊本市本荘1-1-1（熊本大学大学院腎臓内科）
第36回日本腎臓学会西部学術大会事務局
TEL 096-373-5164 FAX 096-366-8458
E-mail seibujin36@convention.co.jp

学会ご案内

●第17回 日本急性血液浄化学会

日 時：平成18年10月6日（金）～7日（土）
 会 長：川西秀樹（土谷総合病院）
 会 場：広島プリンスホテル（広島市）
 〒734-8543
 広島県広島市南区元宇品町23-1
 TEL 082-256-1111 FAX 082-256-1134
 問合せ：〒730-8655
 広島県広島市中区中島町3-30
 医療法人あかね会土谷総合病院
 TEL 082-243-9191 FAX 082-243-9211
 E-mail jsbpcc-hiroshima@tsuchiya-hp.jp
 URL <http://www.tsuchiya-hp.jp/jsbpcc/>

●第12回 日本腹膜研究会

日 時：平成18年10月13日（金）～15日（日）
 会 長：内藤秀宗（佐野伊川谷病院）
 会 場：大磯プリンスホテル（神奈川県中郡）
 〒259-0193
 神奈川県中郡大磯国府本郷546
 TEL 0463-61-1111 FAX 0463-61-6281
 問合せ：〒251-8511
 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25
 湘南工科大学工学部マテリアル工学科内
 「第12回日本腹膜透析研究会事務局」
 TEL 0466-30-0238（代表）内線369
 FAX 0466-34-1096
 E-mail t055004@sit.shonan-it.ac.jp

●第12回 日本 HDF 研究会

日 時：平成18年10月28日（土）～29日（日）
 大会長：衣笠えり子（昭和大学横浜市北部病院）
 会 場：ワークピア横浜（横浜市）
 〒231-0023
 神奈川県横浜市中区山下町24-1
 TEL 045-664-5252 FAX 045-664-6743
 問合せ：〒224-8503
 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
 昭和大学横浜市北部病院血液浄化室内
 TEL 045-949-7000（内線7823・7217）
 FAX 045-949-7208
 E-mail hdf@mtz.co.jp
 URL <http://www.mtz.co.jp/hdf2006/>

学会ご案内

●第44回 日本腎臓学会西部学術大会

日 時：平成18年10月31日（火）～11月2日（木）
 会 長：野一色泰晴（横浜市立大学産学推進本部 学務教授
 横浜市立大学大学院医学研究科人工臓器科学）
 会 場：パシフィコ横浜 会議センター（横浜市）
 〒220-0012
 横浜市西区みなとみらい1-1-1
 TEL 045-221-2155
 問合せ：〒236-0004
 神奈川県横浜市金沢区福浦3丁目9番地
 横浜市立大学大学院医学研究科人工臓器科学
 TEL 045-787-2782 FAX 045-787-2975
 E-mail jsao2006@convention.co.jp

●第36回 日本腎臓学会東部学術大会

日 時：平成18年11月3日（金）～4日（土）
 大会長：小坂橋 靖（聖マリアンナ医科大学小児科学教室）
 会 場：パシフィコ横浜（横浜市）
 〒220-0012
 横浜市西区みなとみらい1-1-1
 TEL 045-221-2155
 問合せ：〒216-8511
 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
 （聖マリアンナ医科大学小児科）
 第36回日本腎臓学会東部学術大会事務局
 TEL 044-977-8111 FAX 044-976-8603
 E-mail tobu@marianna-u.ac.jp
 URL <http://www.jsn.or.jp>

●第9回 日本腎不全看護学会学術集会・総会

日 時：平成18年11月11日（土）～12日（日）
 大会長：遠藤優子（仙台社会保険病院 腎センター 血液透析部）
 会 場：仙台国際センター（仙台市）
 〒980-0856
 宮城県仙台市青葉区青葉山無番地
 TEL 022-265-2450 FAX 022-265-2485
 問合せ：〒231-0013
 神奈川県横浜市中区住吉町1-4 第3白井ビル5A
 日本腎不全看護学会
 TEL 045-226-3091 FAX 045-226-3092
 E-mail jinfuzen-n@giga.ocn.ne.jp

学会ご案内

●第7回 日本クリニカルパス学会

日時：平成18年11月17日（金）～18日（土）

会長：副島秀久（済生会熊本病院）

会場：熊本県立劇場（メイン）

〒862-0971

熊本県熊本市大江2丁目7-1

TEL 096-363-2233

熊本学園大学（サブ）

〒862-0971

熊本県熊本市大江2丁目5-1

TEL 096-364-5161

問合せ：〒861-4193

熊本県熊本市近見5-3-1（済生会熊本病院）

第7回日本クリニカルパス学会学術集会事務局

TEL 096-351-8000 FAX 096-351-8478

E-mail cp7kumamoto@skh.saiseikai.or.jp

●第15回 腎とエリスロポエチン研究会

日時：平成18年11月25日（土）

代表：西沢良記（大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学）

会場：品川プリンスホテル（品川区）

〒108-8611

東京都港区高輪4-10-30

TEL 03-3440-1111